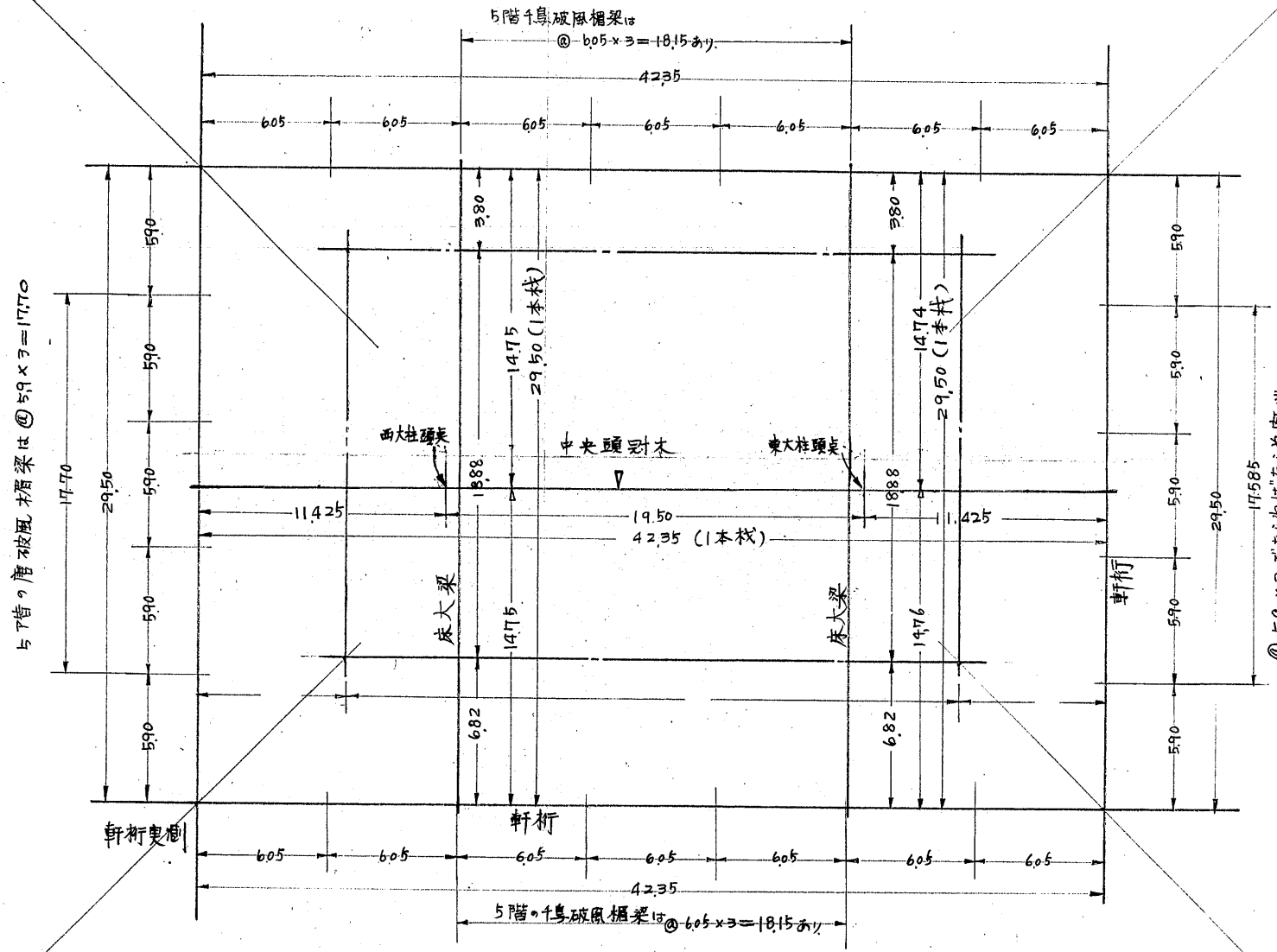


6階平面考察 $S = \frac{1}{50}$

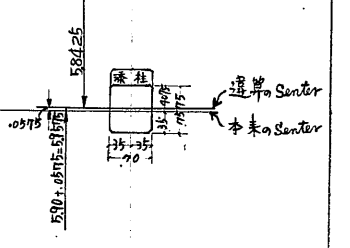
6階床組大梁及敷桁(大柱頭冠木)実測による

1. 中央頭冠木の旧墨は①桁行(4235)
 2. 床梁の旧墨は②梁間(2950)
 3. 入側の中は旧墨は③東西南面は 682(682)
北側は 380(380)
- ※ 以上の調査より桁行4235梁間2950の6階は軒桁と合致する。以下各階とも加違増して、なければ構成は不可能と考えられる。



① 5.9 x 3 "の断面が
中央 590
両端 584.25 宛止 存在している
従って更に両端の間は 5,957.5 と存している
以上を検討してみると下の図の如く原遺を生かしていると考えられる

六拾六
六拾四
六拾二
六拾
六拾八
六拾



拾六
拾九
拾七
拾五
拾三
拾一
九
六